教育理念（宝木小４つの宝）　やさしさ　勇気　喜び　そして　夢

タカラッキー

宝木小学校だより　第４号
令和８年７月１７日発行

http:/www.ueis.ed.jp/school/takaragi/　（発行者　伊藤　敏子）

楽しく実りある夏休みを！



夏休み前の朝会で，子供たちに２つの話をしました。

１つ目は，**「夏休みしかできない体験をしよう」**です。体験活動は，子供たちの探究心や自立心などの成長につながります。夏休みにしかできない体験をたくさん行って欲しいと思います。「体験」というと，お出掛けやイベントへの参加などを思い浮かべますが，そればかりが体験ではありません。ペットや庭の草木の観察をする，役割を決めて毎日お手伝いをする，図書館で本を借りて読むなど，毎日こつこつと何かに取り組む，１つのことにじっくり取り組むなども，時間のたっぷりある夏休みにしかできない貴重な体験です。地域の行事に参加してみるのもいいですね。どのような体験ができるのか，ご家庭でも子供たちにアドバイスしていただければ幸いです。

２つ目は，**「安全に気を付けて過ごそう」**です。せっかくの夏休みも，交通事故や水辺の事故，また金銭トラブル，ＳＮＳトラブル等に巻き込まれてしまっては台無しです。また，ゲームや動画視聴などによる夜更かしは昼夜逆転の生活になりやすく，夏休み明けの登校渋りにもつながります。学校でも児童指導主任，担任から「夏休みの過ごし方」について話をしましたが，夏休みの始まりに際し，ご家庭での約束事を，今一度，お子様と確認していただければと思います。



また，例年，夏休み気分を引きずってしまい学校生活にうまく戻れなくなる児童が見受けられます。<u>登校再開（８/３１）に向け，計画的に課題を終わらせる，少しずつ生活リズムを整える</u>等，登校再開に合わせて気持ちを切り替え，夏休み明け，子供たちが楽しく学校に戻って来られますよう，ご協力をお願いいたします。

安全に関する取組

○　交通安全教室



６月２２日，校内テレビ放送を通じて，市生活安心課による交通安全教室を行い，クイズや実験，映像などを通して正しい自転車の乗り方を確認しました。特に夏休みは，子供たちだけで自転車に乗る機会も多いと思います。自転車事故の被害者にも加害者にもならないよう，ヘルメットの着用と交通ルールの確認の徹底をお願いします。

○　着衣水泳（５・６年生）



夏休み直前の７月１６日，５・６年生を対象に「着衣水泳」の授業を行いました。今回の学習では，万が一の水の事故を想定し，服を着たまま水に落ちてしまったときに命を守るための行動を学びました。服を着用した状態での水中での動きにくさを体験し，子供たちは改めて水の事故の怖さと，命を守る対策の大切さを実感した様子でした。

出前授業　～スマホ・タブレットとの上手な付き合い方



スマホやタブレットはいまや子供たちにも身近な存在です。昨年度のアンケート調査でも，自分専用の端末を持つ児童が５年生で４６％，６年生では７１％にものぼりました。家の人の端末を借りるという児童を含めると，数値はさらに上がることと思います。一方で，**小学校段階の子供たちは，好奇心が強く端末の操作や情報取得技術の上達は早い反面，ルールやマナーが身についておらず，「これをしたらどうなるか」と先を考える力などの危機管理能力は未熟**です。そのため，小学生がオンラインゲーム，LINE を含むＳＮＳでのトラブルやネット犯罪に巻き込まれる事案は年々増加しています。また，スマホ・タブレットに依存するようになると，生活習慣にも悪影響を及ぼします。学校ではネットトラブルや生活の乱れから児童を守るため，スマホ・タブレットの正しい使い方について日々指導を重ねています。夏休みの前の７/１３には，５学年とその保護者の方を対象に，中央警察署の方を講師とした「インターネットでのトラブル防止講座」を実施しました。しかし，未成年者の場合，**スマホ・携帯使用の管理・判断・責任は保護者の方**になります。スマホ・タブレットを現在持たせているご家庭では，お子様と一緒に危険性を確認し，よりよい使い方，正しい使い方についてぜひ話し合っていただければと思います。また，低・中学年などで，現在スマホ・タブレットを持たせていない，触らせていないというご家庭においても，将来子供たちが避けては通れないスマホ・タブレットとの上手な付き合い方について，使用が始まる前からしっかりと話し合っておくことが大切かと思います。子供たちが後から後悔することのないよう，学校でも繰り返し指導を続けてまいります。



校外学習＆出前授業

◇２年　町たんけん



２年生は生活科で「町たんけん」に出掛けました。見慣れた町の風景の中に新しい発見をすることで，自分たちの町を「もっと好き」になるとともに，道路の安全な歩き方などの公共のルールやマナーを意識して正しく生活する力も育ちました。



◇３年　リコーダー教室

３年生から始まるリコーダーの学習に合わせ，専門の講師によるリコーダー教室が開かれました。リコーダーを上手に吹くためのポイントを教えていただいたほか，リコーダーの音色の美しさにも触れることができ，リコーダー学習への意欲が高まりました。

◇４年　自転車免許事業



市が４年生を対象に行っている「子ども自転車免許事業」で，生活安心課と警察の方が来校しました。交通ルールに関する筆記試験と実際に自転車に乗って安全な乗り方を確認する実技試験が行われ，全員無事に試験に合格し，「子ども自転車免許」を手にしました。



◇５年　命の授業

５年生では，助産婦さんによる「命の授業」が行われました。自分たちの誕生が「４５億分の１」の奇跡であることを知った子供たちは，助産婦さんの「みんな，生きてるだけで満点」「自分を大切に」という言葉に深くうなずいていました。